安全は地域のまちづくり

確かな学力をはぐくむ取組
～特色ある教育課程の編成～

教育委員会では、児童・生徒の「確かな学力」をはぐくむために各学校で取り組む、特色ある教育課程の編成を推進しています。

○土曜日授業の実施

土曜日の学校公開を積極的に推進します。確かな学力の定着を図るための授業公開や、保護者や地域の方をゲストティーチャーとして招いた授業などを行います。

振替休業を伴わない土曜日授業について、平成26年度からは学校ごとに回数を決めて実施します。実施回数は学校によって異なりますが、実施回数が少ない場合は、長期休業中に授業日を設定するなど、各校で工夫し、確かな学力を身に付けるために必要な時間を確保します。

○長期休業中の補習教室

長期休業中に全市立学校で、全学年を対象とした補習教室を実施します。一人一人の学習状況に合わせて、確かな学力の定着を図るため、国語、社会、算数（数学）、理科、英語を対象教科とした補習教室を、夏休みなどの期間に5回以上実施します。

なお、夏休み中に通常授業を行う学校は、通常授業と補習教室の回数の合計が5回以上になるように実施します。実施時間や内容については、各学校で工夫して行います。

◆教育指導課　042（438）4075

「税についての作文」表彰式

将来を担う中学生の皆さんが、税について関心をもち、正しい理解を深めていくことを目的とした「税についての作文」（全国納税貯蓄組合連合会主催）に、全中学校から914編の応募があり、平成26年1月20日に、表彰式が行われました。

◆教育指導課　042（438）4075

賞の名称	受賞生徒（敬称略）	学校名
西東京市長賞	金子　愛香	ひばりが丘中学校
西東京市教育委員会教育長賞	鈴木理紗子	保谷中学校
西東京市租税教育推進協議会会長賞	豊田　翔	田無第二中学校
東京都立川都税事務所長賞	山本みなみ	田無第三中学校
東京納税貯蓄組合総連合会会長賞	井出　岬	田無第一中学校
多摩武蔵納税貯蓄組合連合会会長賞	阿部虎之助	青嵐中学校
多摩武蔵納税貯蓄組合連合会優秀賞	三上　秋羽	柳沢中学校
	宇都　友子	田無第一中学校
	粟屋　夏澄	田無第四中学校
社団法人東村山青色申告会会長賞	十楚　未来	田無第二中学校
社団法人東村山法人会会長賞	西出凌太朗	明保中学校
東京税理士会東村山支部支部長賞	河野　太祐	明保中学校
学校感謝状	ひばりが丘中学校	

東京消防庁から感謝状をいただきました

AED（自動体外式除細動器）の取り扱い方等を学ぶ「普通救急救命講習」を今年度から全中学校で実施しています。このことを受け、平成25年9月10日に東京消防庁より救急部長感謝状をいただきました。

生徒は西東京消防署の職員の方の指導のもと応急処置について学びます。

市教育委員会では、今後も各校における防災教育の取組を推進してまいります。

◆教育指導課　042（438）4075

人権メッセージ発表会が開催されました

子どもたちに、人権尊重の精神と、自由に意見を表明する権利を理解してもらうために実施されている「第20回子どもたちからの人権メッセージ発表会」が平成25年9月14日東村山市立中央公民館で開催されました（多摩東人権啓発活動地域ネットワーク協議会主催）。西東京市立小学校に通う3人の児童も発表を行いました。

「いじめはしない」
東伏見小学校　4年　出口（でぐち）　萌恵（もえ）さん

「一人でも勇気をもって」
向台小学校　6年　荘（しょう）　祐紀子（ゆきこ）さん

「自分にできる事」
中原小学校　5年　中川（なかがわ）　彩（あや）さん

◆教育企画課　042（438）4070

東京都教育委員会表彰

学校活動支援団体等に対する感謝状

長年にわたり、学校における学校活動の支援及び地域における児童・生徒の育成活動を続けている団体・個人に対し、今後の活動継続を奨励することを目的に、平成25年11月2日、東京都庁で感謝状贈呈式が行われました。

西東京市では、次の方が感謝状の贈呈を受けました。

【地域における児童・生徒の育成活動部門】
・川原　要次郎氏（栄小学校）

川原要次郎氏（上段右）と関係者の皆さま

東京都教育委員会職員表彰

東京都の教育の発展、学術、文化の振興に貢献し、その功績が顕著で、かつ勤務成績の優秀な職員の功労をたたえるため、平成26年1月23日、ホテルフロラシオン青山にて表彰式が行われました。

西東京市からは、次の職員が表彰されました。
・川田　弘子（柳沢小学校主任教諭）

川田弘子主任教諭（左）と学校長

◆教育企画課　042（438）4070

入賞　おめでとうございます！

人権作文コンテスト

「平成25年度全国中学生人権作文コンテスト東京都大会」（東京法務局・東京都人権擁護委員連合会主催）で、次の生徒の作文が入賞しました。

〈作文委員会賞〉
田無第一中学校　2年　冨田（とみた）　紫子（ゆかりこ）さん
田無第一中学校　3年　見並（みなみ）　万綾（まあや）さん
田無第三中学校　3年　山本（やまもと）　美月（みつき）さん
田無第四中学校　3年　藤森（ふじもり）　彩希（あき）さん

薬物乱用防止標語

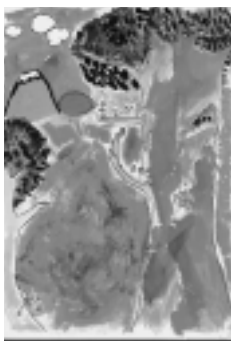
東京都福祉保健局で募集した「平成25年度薬物乱用防止標語東京都選考」で、3万2千989点の応募の中から、次の生徒の標語が入賞しました。

〈優良賞〉
「薬物に手を出す前に考えよう　自分の未来　家族の笑顔」
田無第二中学校　3年　櫻井（さくらい）　琴乃（ことの）さん

緑化運動ポスター

「平成26年用緑化運動ポスター原画募集」（東京緑化推進委員会主催）で、次の児童の作品が入賞しました。

〈入賞（小学校の部）〉
芝久保小学校　4年　瀧島（たきしま）　悠（ゆう）さん



◆教育企画課　042（438）4070

新・子ども記者コーナー⑥

このコーナーでは、市立小学校の児童が記者となって、「学校自慢」をテーマとした記事を紹介します。

こんな学校です。栄小！

「ダントツット　ツットコダン」これは、毎年6年生が春の運動会に取り組む「七頭舞」という、踊りの口拍子。私が栄小に入学する前から続いており、今年まで引き継がれてきました。

私が5年生だった頃、休み時間に6年生が優しく、時には厳しく、教えてくれました。「もっと足曲げて！手も！」と次から次へと言われることもあり、正直、七頭舞なんてやる必要ない、そう思っていました。しかし、投げ出すこともできず…一応踊れるように練習をしました。そして6年。運動会はすぐにやってきました。やる必要ないと思っていた七頭舞も、終わってしまったら、ものすごく寂しかったし、大きな達成感もあったのです。

この達成感が味わえる七頭舞も、6年生から5年生へ、新6年生から新5年生へ…。そうやって子どもたちだけで引き継いできました。何と素晴らしいものでしょう。この七頭舞を続けていってほしいです。このようなエピソードを数多く生み出す学校が栄小学校。

2学期、6年生から5年生へ「七頭舞の引き継ぎ」が始まります。

◆栄小学校　6年　丸山　なな

泉小学校の自慢「あいさつ」

泉小学校に入学するとあいさつが得意になります。そのきっかけを作ってくれるのが「あいさつ週間」です。

あいさつ週間では、まず代表委員会が普段より早く登校し、校長先生や地域の方々と共に昇降口に立ちます。そして「目を見て・笑顔で・大きな声で」のキャッチフレーズのもと、活気あるあいさつで全校児童を迎え入れます。

校長先生はあいさつ週間でない日でも、毎日のように昇降口に立って児童に挨拶をしてくださいます。こうした結果、元気のよい挨拶を泉小学校のみんなができるようになります。

ぼくは、泉小学校に入り、あいさつをすることで周囲の人々の気持ちがよくなるだけでなく、自分自身も健やかな一日を過ごせることに気が付きました。

あいさつ週間は、泉小学校のよいところのほんの一例に過ぎませんが、自慢できるところだと思います。

◆泉小学校　6年　西村　亮哉